

ここが聞きたい!

いっぱん

人口激減・地方自治体の 存続手段は

石原武志 議員

教育長 家庭・学校・地域が一体となった 地域の創造・人材育成が必要



問 人口減少対策について、先日の新聞報道に人口減少問題が取り上げられ物議を醸しているが、都市部への流出などに対する考えを問う。

答 安部教育長
地域すべての人々、誰もが幸せで、豊かな人生を送れるような奥出雲町を創造するのが我々の務めと認識している。今、学校では道徳教育、故郷教育が重視されている。地域の課題・諸問題を把握し解決方法を自ら模索し、進路選択につなげる事も同様に教育の大切なと考える。

一方、若者に対する教育は学校教育で完結するものでなく社会生活や仕事上で学び、完成する。

若者の交流機会の減少した近年、公民館組織などの活用により青年層の交流・学びの場を増やすよう内容の充実を図り、人口問題などに地域・学校・家庭が一体となって取り組めるよう対応したい。

答 川本総務課長
多様化するニーズや高度な行政サービスに対応すべく即戦力となる社会人経験者の採用を取り入れ、町づくりに貢献できる人材確保に努めたい。

問 私たちの頃に比べて1割の児童数しかない今日、将来の危機的状況を救うための教育方針・具体策について再度問う。

答 安部教育長
多人数の時期に比べ、郷土愛を持つ人材育成を基盤に環境整備・情報提供を行い、都市部で活躍する者、地域を支える者同じ郷土愛と友情を基に活躍する次代の担い手達がそれぞれを託し合い、将来を決定するそんな教育の場になってほしい。

設計や展望を持ち、安心して子供を育て、生活できる奥出雲町となるよう、今以上に運営や諸施策の実行を期待する。

昨今増加している観光客に対する情報提供・案内表示や現地案内などについて問う。あわせて観光地相互の連絡網・観光客に対する他の観光地の案内や情報提供などの対応について、また、近隣市町の施設との連携について問う。

答 本山観光推進課長
観光施設の情報提供は観光情報サイト「奥出雲」で「ごこち」で施設情報やイベント・旬な話題など提供している。案内表示はサインや観光文化協会作成のロードマップを活用願いたい。代表的観光地は山などを含め町内に十数か所あるがボランティアガイドや地元有志の積極的参加により観光客の要望に沿えるよう努力している。相互の連絡や提携について、雲南市・安来市・庄原市・日南町・

設計や展望を持ち、安心して子供を育て、生活できる奥出雲町となるよう、今以上に運営や諸施策の実行を期待する。

神石高原町と連携を図り、パンフレット設置など協力している。雲南観光ネットワークでの連携や日本自動車連盟と包括連携協定を締結し、ネット活用を始める予定である。

問 最近の旅行・観光パターンの変化によるニーズに 대응するような対応が必要。観光は大きな資源であり、雇用創出にもつながる。個別の対応では限界があると思うので協会・行政側から連携等に対する工夫と指導・提案が必要。世界唯一の「たたら現存地」として集客や事業誘致につながる観光地構築を期待する。



人口問題などの新聞報道